

ついに決定! F-4の後継機となる次期戦闘機はF-35に!!

# JWings

[Jウイング] 戦闘機が楽しくなる  
ミリタリーマガジン

2 FEBRUARY 2012  
No.162

徳永克彦撮り下ろし空撮で楽しむ!

偵察航空隊  
50周年

LOCKHEED MARTIN  
F-35 LIGHTNING II

特別付録

50周年  
記念塗装

RF-4E

B2特大ポスター



特集

# F-X、

次期戦闘機

日本の  
将来防衛を担う  
新戦闘機はこれ!

# F-35に決定



11日晩の「フライデー・トワイライト・エアショー」。アンチコリジョンライトを輝かせながら、さらに明るいフル・アフターバーナーを曳いて上空をパスするF/A-18F



ブルーエンジェلزの支援輸送機、海兵隊C-130T「ファット・アルバート」。離陸後、脚を格納して滑走路を超高空飛行し、滑走路端から急上昇を披露する



海軍航空100周年を祝すレガシーフライト。F/A-18Fスーパーホーネット、ヴォートF4U-5コルセア、カーチスSB2Cヘルダイバーの密集編隊が上空を何回もパスしてみせた



GEICOスカイタイパーズによる「100 YEARS OF NAVAL AVIATION」の文字。スカイタイパーズはSNJ-2×6機が横一列になって飛び、各機が出すスモークの点で空中に文字を描く

ブルーエンジェلزの「エシュロン・パレード」。1~4番機がライト・エシュロン隊形を維持し、大きく左バンクをとりながら約350ノットで観衆の前をパスする



# 海軍ペンサコラは 昼も夜もエアショー

**熱血!** 航空祭 レポート

US Navy NAS Pensacola  
Blue Angels Homecoming  
Air Show

写真と文：Phodocu  
Photos & text by Phodocu

ができた。エアショーのデモフライトと花火を楽しむことができた。

11月11日、12日(金・土)、フロリダ州湾岸のペンサコラ海軍基地でエアショーが開催された。2日間で18万人を超える観客が訪れ、現用機や大戦機によるフライト・ディスプレイの目撃者となった。

ペンサコラは「海軍航空のゆりかご」と称され、1911年にここでアメリカ海軍航空の素となるすべてが始まった。現在はCTW(第6訓練航空団)と曲技飛行チーム「ブルーエンジェルズ」の本拠地だ。ブルーエンジェルズは第二次世界大戦直後の1946年にNASジャクソンビルで編成されたが、1954年末にペンサコラに移り、毎年この「ホームカミング・エアショー」でシーズンを終えている。今年にはチームの65周年であり、マクドネルダグラスF/A-18に機種更新してから25周年にもあたる。いっぽうで海軍航空の100周年(CONA)でもあり、歴史的な塗装を再現した多くの機体がペンサコラに集まり、100周年の飛行イベントのラストを飾った。



ブルーエンジェルズの演技を見上げる、電源車担当のチームクルー



エアショー前日の10日晩にペンサコラに到着した、VFA-122のF/A-18F デジタル迷彩+米海軍航空100周年マーキング機